

グループホーム幸ほか	
<p>高齢期を含むケアの充実、職員体制の見直し、グループホームの集約化</p>	<p>高齢期を含む利用者へのケアを充実させるため、世話人業務の調理体制を変更し、食事の一部をつぐつとに委託する。直接処遇職員のケアを向上させるため、職員の勤務体制を改善する。 点在するグループホームの集約化・効率化のプランを立て、職員が支援しやすい環境を作る。</p>
目標利用率	85%以上 (平均47人以上) R1実績78%
通所資源	
塩谷多機能 (せせらぎ日中訓練)	
<p>共生型デイサービスの定着 日中プログラムの充実</p>	<p>共生型通所介護のプログラムを定着させる。高齢期利用者への支援を検証し、より良いサービスを考案する。 生活訓練として利用する利用者への計画を立て、個人のニーズに応じた道筋をたてて支援を行う。</p>
目標利用率	100%維持 (平均10人) R1実績110%
塩谷多機能 (青葉)	
<p>就労目的と生活維持目的 のプログラムの両立 敷地管理の受託</p>	<p>高齢期利用者が多数おられるため、楽しい生活を提供できるようにプログラムを維持する。 共生型通所介護と連携し、働くことから過ごすことへ移行する方の支援を継続する。 法人から委託を受け、草刈りや小修繕など敷地の維持管理を行う。</p>
目標利用率	90%以上 (平均9人以上) R1実績112%
目標工賃	月 8,000円以上 R1実績7,009円

相談資源

地域活動支援センターやすらぎ

地域生活者への居場所と相談支援、レクレーションの提供。専門的な個別支援。

緊急・困難ケース等の専門的な支援が必要な場合に対応できる体制を作る。
いつでも相談できる体制を維持し、必要に応じて関係機関と連携する。
利用者とレクレーションを計画し、生活を楽しめるよう
に支援する。利用者主体の活動を支援するため自助グループの活動機会をつくる。

定員規模

1 日平均 20 名程度

相談支援事業所やすらぎ

計画相談の維持、訪問支援の試行

地域生活の安定のため訪問支援を行う。自立生活援助（巡回訪問）の活用を検討する。
介護保険適用の利用者について支援の連携を行うため居宅介護支援事業所、包括支援センターとのパイプを作る。
計画相談の業務量を維持し、効率的な業務を行う。
障がい児・者支援協議会等へ参画し、福祉制度向上への提言を行う。

計画相談支援

担当は相談員 1 人あたり 1 か月 39 人以下とする

サービス事業所一覧(定員規模)

令和2年度

